

【本論文】

脇本海岸（愛媛県愛南町）で採集された昆虫類
3 種の記録辻 雄介^{1*}

Yusuke Tsuji

¹株式会社 相愛 〒780-0002 高知県高知市重倉 266-2
So-ai Ltd., 266-2 Shigekura, Kouchi City, Kouchi 780-0002
*e-mail:y.tsuji@soai-net.co.jp

Yusuke Tsuji. 2023. Records of three insect species collected at Wakimoto Coast (Ainan Town, Ehime Prefecture, Japan). NANYOSEIBUTSU, 21: 35–37.

(2023 年 1 月 19 日受付, 2023 年 4 月 28 日受理)

脇本海岸（脇本の浜）は愛媛県愛南町と高知県宿毛市にまたがる海岸線 600m 程の砂浜海岸で、海水浴場として知られている（図 1）。著者は 2020 年に当海岸の愛媛県側で昆虫類の採集調査をおこない、特筆すべき昆虫類（重要種および外来種）3 種の分布を確認したので、得られた標本に基づき、以下に報告する。

コウチュウ目 Coleoptera

オサムシ科 Carabidae

キイロアトキリゴミムシ *Philorhizus optimus* (Bates, 1873) (図 2)

砂浜上にあった流木の裏側から採集した。本種はシイの大木が残っているような低地の林の林床に生息しているとされており（福岡県環境部自然環境課, 2014）、本来の生息地は当地ではなく、海岸沿いにある県道 7 号線を挟んだ山側の樹林内である可能性もある。採集個体は、頭部が暗赤褐色で一部に微細印刻があること、前胸背板にも微細印刻および横じわがあり、上翅は会合線と側縁に沿って暗黒褐色紋を持つことなどが本種の形態的特徴に一致した（上野ほか, 1985）。本種は北海道・本州・四国・九州に広く分布するが（上野ほか, 1985）、稀な種

とされている（森, 2014）。本県に隣接する高知県では、高知市より近年の記録があるが（辻, 2022）、これ以外には県下で近年の正式な記録は見当たらず、県のレッドデータブックでは情報不足とされている（高知県レッドデータブック（動物編）改訂委員会, 2018）。愛媛県における記録も少なく、酒井ほか（2004）および吉富ほか（2012）が知られるのみである。

ゴミムシダマシ科 Tenebrionidae

ニセハマヒョウタンゴミムシダマシ *Idisia vestita* Marseul, 1876 (図 3)

砂浜上にあった流木を起こして採集した。海浜砂浜に生息する（秋田・益本, 2016）。本種はハマヒョウタンゴミムシダマシ *Idisia ornata* Pascoe, 1866 によく似ているが、上翅第 3 間室の基部が大きく隆起するだけで、間室の隆起が目立たないことで区別され（秋田・益本, 2016）、標本個体の形態的特徴はこれに一致した。本種の生息地は限定されており、生息地での個体数も多くないとされ、生息状況については、近年における海浜環境の悪化によって危機的な状況にある産地が多いものと想定されている（秋田・益本, 2016）、愛媛県ではレッドリ



図 1. 脇本海岸の環境写真



図 2. キイロアトキリゴミムシ



図 3. ニセハマヒョウタンゴミムシダマシ



図 4. ケブカアメイロアリ

ストで情報不足に選定されている (愛媛県, 2022) .

ハチ目 Hymenoptera

アリ科 Formicidae

ケブカアメイロアリ *Nylanderia amia* (Forel, 1913) (図 4)

駐車スペースの周辺で働きアリを採集した。裸地や草地などの乾いた環境に多く、石下や土中に営巣する (寺山ほか, 2014) . 本種は大顎に 6 歯をもつこと、触角柄節の長さの 3 割程度が頭部後縁を超えること、前・中胸背板に 6 対以上の剛毛を持つことなどの特徴によって類似種とは区別され (寺山ほか, 2014) , 標本個体の形態的特徴はこれに一致した。本種は本州・四国・九州で分布が確認されているが (久末・辻, 2020) , 原産地は台湾と考えられている人為的移入種であり (Terayama, 1999; Williams and Lucky, 2020) , 愛媛県では愛南町御荘平城の 1 例が知られるのみである (久末・辻, 2020) . 本報の産地が愛媛県で 2 例目の正式な侵入地の記録になるものと思われる。

謝 辞

文献を恵与いただいた鈴木 茂氏 (岡山県岡山市) , 採集に同行いただいた辻 春香氏 (高知県高知市) , 本文を校閲いただいた近藤英文氏 (株式会社相愛) に厚くお礼を申し上げる。

引用文献

秋田勝己・益本仁雄. 2016. 日本産ゴミムシダマシ大図鑑. むし社, 東京, 300pp.
愛媛県. 2022. 愛媛県レッドリストの改訂について (愛媛県ホームページ: <https://www.pref.ehime.jp/h15800/redrisuto.html>, 2023 年 4 月 22 参照) .

福岡県環境部自然環境課. 2014. 福岡県の希少野生動植物 福岡県レッドデータブック 2014. 福岡県環境部自然環境課, 福岡, 276pp.

久末 遊・辻 雄介. 2020. ケブカアメイロアリ *Nylanderia amia* の四国における記録と近年の分布拡大について. 蟻, (41) : 18–36.

高知県レッドデータブック (動物編) 改訂委員会. 2018. 高知県レッドデータブック 2018 動物編. 高知県林業振興・環境部 環境共生課, 高知, 279pp.

森 正人. 2014. 兵庫県のアトキリゴミムシ(2). きべりはむし, 36(2) : 6–14.

酒井雅博・小川次郎・菊原勇作・高橋知代・石川春子・酒井あけみ. 2004. 愛媛県肱川下流域の昆虫相. 四国虫報, (38) : 1–16.

Terayama M. 1999. Taxonomic studies of the Japanese Formicidae, part 5. Genus *Paratrechina* Motschoulsky. Memoirs of the Myrmecological Society of Japan, 1: 49–64.

寺山 守・久保田敏・江口克之. 2014. 日本産アリ類図鑑. 朝倉書店, 東京, 278 pp.

辻 雄介. 2022. 高知県高知市でキイロアトキリゴミムシを採集. 南予生物フィールドノート, 22011.

上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝. 1985. 原色日本甲虫図鑑 II. 保育社, 大阪, 522pp.

Williams JL. and Lucky A. 2020. Non-native and invasive *Nylanderia crazy* ants (Hymenoptera: Formicidae) of the world: integrating genomics to enhance taxonomic preparedness. Annals of the Entomological Society of America, 113(4): 318–336.

吉富博之・松野茂富・酒井雅博. 2012. 松山市産コウチュウ目目録. まつやま自然環境環境調査会 (編), 松山市野生動植物目録 2012, 松山市環境部, pp.105–166.